

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

西淡路	学校	児童数	58
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.94	18.64	40.09	37.82	42.42	9.52	148.06	16.78	51.23
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	17.62	17.19	44.14	38.50	40.24	9.78	137.43	14.33	55.60
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

体力合計点は、男子が全国平均を1.30ポイント下回り、女子が全国平均を1.68ポイント上回った。種目別に見ると、「長座体前屈」は、男子・女子ともに全国平均を上回った。

児童質問紙の「運動やスポーツをすることは好きですか。」に、「やや嫌い」「嫌い」と答えた児童の割合の合計は、男子が15.2%、女子が23.8%であった。一週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子が全国平均9.2%に対して学校平均24.3%、女子が全国平均16.0%に対して学校平均33.3%と、全国平均と比べて多い傾向が顕著である。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

学期に2回以上、運動する良さを実感させることをねらった運動朝会を全校で行い、体を動かす機会を持つことができた。さらに、運動能力・跳躍力向上をねらった「なわとび週間」や、体力・持久力向上をねらった「かけ足週間」を全校で2週間ずつ設定したことで、寒い時期にも体を動かし、休み時間になわとびやかけ足をする児童の姿が多く見られた。それぞれのがんばりカードを作成したり、運動委員会や教員による啓発動画を活用したりしたことも児童の意欲を高める一因となった。運動に関する取り組みは、計画的に実施することができたと考える。

しかし、「体育の授業は楽しいですか。」の問いに対して肯定的に回答する児童の割合は、男女ともに全国平均を下回った。次年度は、体育の実施単元を系統立てて整理し、児童が運動能力の向上を実感できるような仕組みを整えたり、児童の運動への意欲を高められる環境づくりや冬期にも運動量を確保できる取り組みを考えたりしていく。